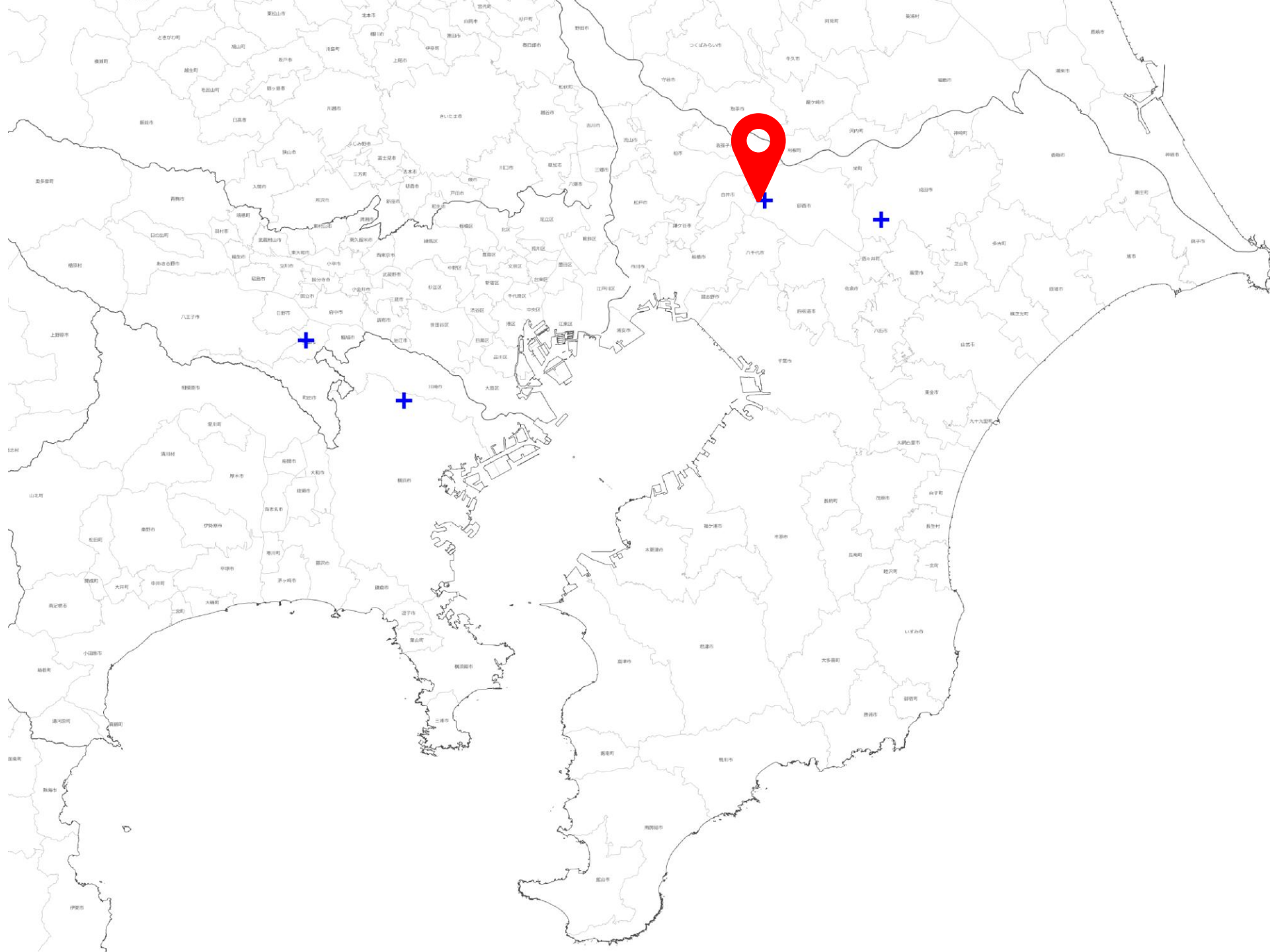


千葉ニュータウン

白井市



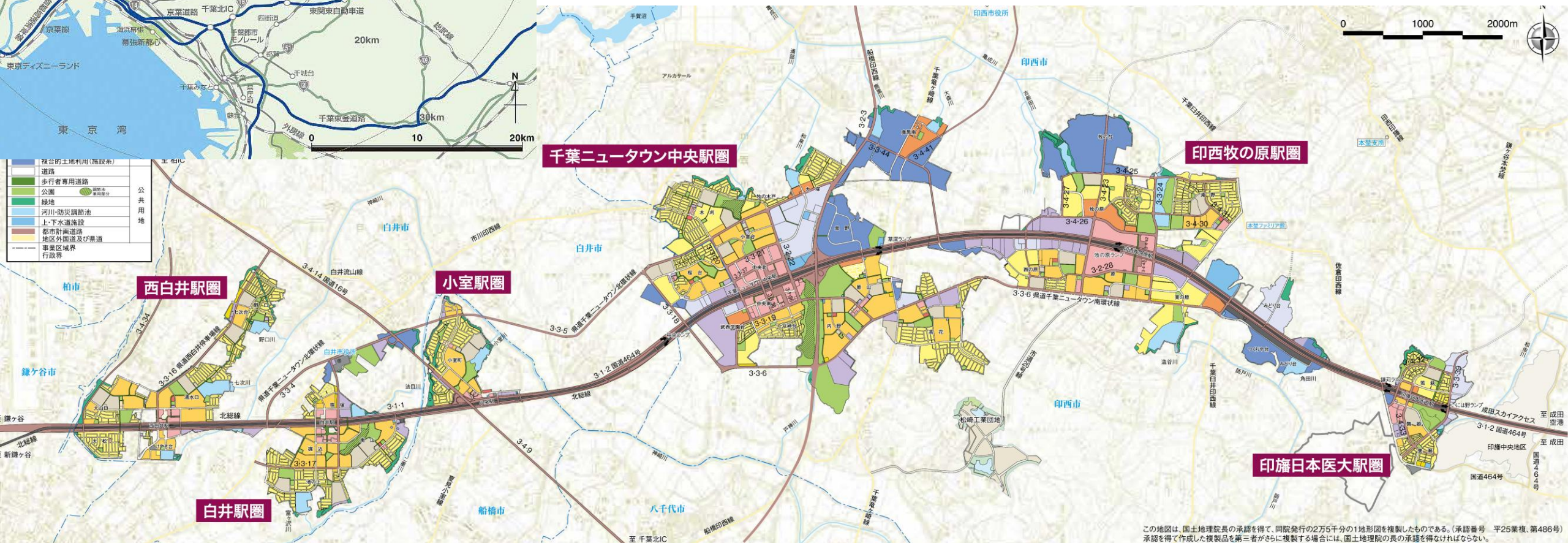
千葉ニュータウンの概要



複合的土地利用(施設系)	公共用地
道路	
歩行者専用道路	
公園	
緑地	
河川・防災調整池	
上・下水道施設	
都市計画道路	
地区外環道及び県道	
事業区域界	
行政区界	

開発・入居時期	1969年 事業認可 1979年 初期入居
規模(面積)	約1,930ha
人口・世帯数	約10.9万人(2026年6月末) 約4.6万世帯(2026年6月末)

整備手法	新住宅市街地開発事業
施行者	千葉県・UR都市機構



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平25兼復、第486号)
承認を得て作成した複製品を第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

千葉ニュータウンの概要

65

千葉ニュータウン 西白井駅圏

千葉県

千葉ニュータウンの最西端の駅圏で最も早く昭和53年に入居が始まった地区です。
昔ながらの団地をはじめ、タウンハウスや、中層住宅、戸建住宅が共存する住宅地となっています。

圏域概要

所在地	千葉県白井市
面積	199.5ha(3住区)
計画人口・戸数	16,900人・5,500戸
入居開始	昭和54年3月
駅乗降客数※	日平均12,833人(平成30年度)

※国土数値情報(駅別乗降客数データ)〔国土交通省国土政策局〕

航空写真



令和元年撮影

出典: 国土地理院ウェブサイト (<https://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html>)

土地利用計画図

※立地施設は、令和4年3月現在の情報に基づいています。



65

千葉ニュータウン 白井駅圏

千葉県

駅南側は戸建住宅と団地、高層住宅が共存する落ち着いた街並みとなっており、駅北側は中高層住宅、商業施設が立地しています。また、白井市役所周辺は総合公園、図書館、ホールなどの機能が集積しています。

圏域概要

所在地	千葉県白井市
面積	193.1ha(2住区)
計画人口・戸数	15,400人・4,900戸
入居開始	昭和54年8月
駅乗降客数※	日平均9,947人(平成30年度)

※国土数値情報(駅別乗降客数データ)〔国土交通省国土政策局〕

航空写真



令和元年撮影

出典: 国土地理院ウェブサイト (<https://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html>)

土地利用計画図

※立地施設は、令和4年3月現在の情報に基づいています。

